

事務事業名		中学校校舎耐震補強事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					担当係	学校施設係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	13555	一般	10	3	1	中学校校舎耐震補強事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	11年度～27年度		根拠法令 条例等	地震防災対策特別措置法		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		施設等整備事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		1-3								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
非木造の2階建て以上、または延べ床面積が、200以上の建物(校舎)の耐震化を行う。			・耐震補強工事 葛生中(第1期)							
耐震化の対象となる棟数 23棟 新耐震基準による棟数 10棟										
耐震補強の基本的な進め方 1年目 耐震診断(耐震性能を確認) 2年目 実施設計(耐震性能がない建物の補強) 3年目 補強工事の実施			活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			2階以上又は床面積200㎡を超える非木造の校舎		棟	23	23	23		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
学校施設の利用者(生徒、教職員、地域住民)			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			生徒数		人	3,027	2,992	2,942		
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
校舎の耐震性能を確保し、学校施設の利用者を地震災害から守る。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			耐震性能が確保された校舎		棟	21	21	23		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
校舎、体育館の耐震化を高め、遊具の安全性が保たれている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			学校施設の耐震化率		%	83.04	90.18	100	100	100

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	54,603	40,238	41,075					
	県支出金	千円								
	地方債	千円	35,300	12,000	24,800					
	その他	千円								
	一般財源	千円	9,049	1,071	8,596					
	事業費計(A)	千円	98,952	53,309	74,471	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			設計委託料	5,670	監理委託料	1,674	監理委託料	2,193		
			監理委託料	3,349	工事請負費	51,635	工事請負費	72,278		
工事請負費			89,933							
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	394	394	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	99,341	53,703	74,865	0	0				

事務事業名	中学校校舎耐震補強事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	学校施設係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震発生時の学校施設の安全確保が急務であるとのことで耐震補強事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国では、公立学校施設の耐震化について、平成23年5月に改正した「公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針」において、平成27年度までのできるだけ早い時期に公立学校施設の耐震化を完了する目標が示された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成18年、平成20年の議会において、耐震補強事業の推進をするような質問があった。子供の学校生活の安全を確保するため、耐震工事の早期完了を要望する声が、保護者、議会から多数ある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 大地震発生時に、学校において、多くの生徒等が一日の大半を過ごす校舎の耐震化を図ることで、生徒への被害を最小限度に食い止めることができ、又被災後の教育活動等の早期再開を可能となり、基本事業の安全な学校施設等の整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 学校教育法第2条の規定の学校の設置者である市が事業を行なうのは、妥当である。また、地震防災対策特別措置法の第2条により、栃木県が作成した地震防災緊急事業五箇年計画で定めた事業であり公共関与は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 耐震化事業により、地震発生時に学校施設における児童等の安全を確保することは行政の責務であり、対象と意図を見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 法に基づいて耐震診断を行い、耐震診断判定会それに基づく工事を実施しており、学校施設の耐震化率を100%とするのが成果であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 法に基づいた建物の耐震診断による耐震補強個所を実施するため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者をあえてあげれば、生徒となるが、災害時の避難場所にし指定されており、また、学校教育法第5条の規定により、学校の設置者である市が負担するのが妥当であるとする。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	27年度で事業完了。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			